

# 最強の「No.2」への道

主幹 中 村 昌 子

45年ぶりという大雪に見舞われた2月も終わろうとしています。校庭の桜の花芽が厳しい寒さの中でも確実に膨らみ始め、春の足音が感じられるようになってきました。附属大泉小学校の3学期の大きな行事であるおわかれ音楽会が2月22日（土）、24日（月）の両日に行われ、多数の保護者の皆様においでいただきましてありがとうございました。今年は初めての土曜日開催を試みましたが、大きな混乱もなく、音楽会の運営・進行にご協力いただきましたこと、心より御礼申し上げます。もしかしたら事前のアンケートの人数をお知らせしたためにご遠慮されたご家族や、時間帯もあつたのではないかと少し心配しておりますが、今年の様子から見ますと、まだお席には余裕があつたようです。来年は是非ご自分のお子さんの学年だけでなく、他学年、とりわけ6年生のオペレッタまでご鑑賞いただければ幸いです。

さて、このおわかれ音楽会と同時並行的に、この3学期は6年生を送る準備が在校生によって着々と進められています。その中心となっているのが5年生。3学期の生活団活動では5年生を中心に3月5日（水）に行われる「6年生を送る会」の準備をしています。5年生にとっては、6年生から生活団を引き継ぎ、4月から6年生として本格的にリーダーとして行動するための”修行期間“でもあるのです。今まで6年生がやっていたことは、ずっと5年間見ているわけですから、何をするかはおよそ分かっているのですが、「知っている」という状態と「実際にやってみる」のとでは大違い。目の色を変えて、必死になっている5年生の姿がほほえましくも、愛おしくもあります。時には後輩たちに突き上げられたり、いくらいっても話を聞いてもらえなかったり…。更には、卒業式に行く卒業パレードを担当するのも5年生。卒業式当日、6年生を全校あげて華やかに送り出す卒業パレードは附属大泉小の特色ある伝統の一つです。パレードを盛り上げる歌やその演奏、様々な装飾、演出。その一切が5年生に任せられるのです。今年の5年生は、「6年生がいい小学校生活だった」と思えるように、在校生が心ひとつに「ありがとう」の気持ちを伝えるパレードにしようとしたそうです。この3学期に凝縮された5年生の活動が実は学校の「No.2」としてこの1年間を過ごしてきた大切な仕上げなのです。この3学期の一連の活動を通して最強の「No.2」となるのです。

奇しくも今年5年生がおわかれ音楽会で演奏した「天地人」は、安土桃山時代から江戸時代に初頭にかけて上杉景勝の執政として、上杉家を支えた直江兼続を描いたNHK大河ドラマのテーマ曲です。直江兼続は、当時の権力者である豊臣秀吉、徳川家康にも一目置かれた最強の「No.2」として有名な人物です。「No.2」がしっかりと「No.1」を支えている組織は、組織としての活動が安定し、大きな成果を上げるといわれます。生活団の「No.2」として6年生を支えてきた5年生が今まさに最強の「No.2」としての役割をみごとに努めようとしています。直江兼続が大切にした「愛」の精神と菊の子魂を兼ね備えた5年生が、「天地人」の勇壮なリズムに乗せて活躍する姿に皆さんからの大きな応援をお願いします。